

# 整備機器

## 新商品

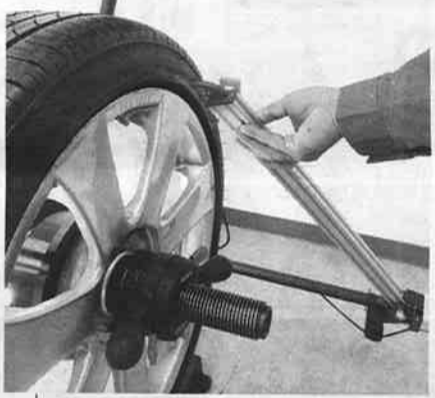
### 東洋精器工業(株)

#### ホイールバランサー 「TRIM BP-67/BP-68」

# 実用機能をフル搭載

と、お客様へのアピールを強めていきたい」としている。

その「TRIM」シリーズの最新モデルとして、このほどラインアップに加わったのが「TRIM BP-67」と「TRIM BP-68」の2機種。「BP-67」のほうがかスタ



①リム径・距離自動入力ユニット。②リム幅自動入力ユニット。ともに作業効率の向上に寄与する

東洋精器工業(兵庫 県宝塚市、阿瀬正浩社長)は今年、創業満70周年という大きな節目を迎えた。今回の創業70周年を機として、同社ではホイールバランサーの製品戦略について見直しを図っている。主力製品の1つ、ホイールバランサーではこれまで、「TRIM (トリム)」と「PRE STOR(プレスト)」と二つのシリーズを上市していた。それをこのほど「TRIM」シリーズに集約化。太田正彦取締役は「初心に帰り、東洋精器のホイールバランサーは「TRIM」

販売企画部長製品・技術部門リーダーの小出哲裕さんに実演デモを交え解説してもらった。

またタイヤガードも標準装備。石ハネや巻き込みと、安全面への観点からガードを閉じると自動で回転が始まるカバースタート機能を有している。

「ハイインド機能」といった上級機種に搭載される機能も標準装備している。またLEDディスプレイやタッチメントやMCアダプターなどオプション品も豊富に用意している。

「ホイールバランサーに求められる機能を標準で装備しながら、すぐれたコストパフォーマンスを実現しました。高い精度と作業性の良さはもちろん、ビットに映える外観ルックスがアピールポイントです」と小出さん。「TRIM」シリーズに新たな系譜が誕生したと言える。



販売企画部の小出哲裕課長

新製品「TRIM BP-67/BP-68」で特徴的なのは、そのカラーリングだ。つや消しのマットブラックを採用した。これは先に、創業70周年を記念して販売を始めたタイヤチェーンシャワーの新製品「PIT ATHLET ETE-II(ピットアスリートツー)」に続いてのもの。

「TRIM BP-67/BP-68」で共通し採用したのが「リム径・距離自動入力ユニット」。アルミホイールの内面修正を行うときに標準搭載のこのユニットを使うことで、わずかに2アクションでリムデータの入力完了する。スケールアームのウェイトクリップを用いた、正確な内面貼付ウェイト修正が可能で、小出さんは「TRIM BP-68」は続ける。

「TRIM BP-68」は電磁ロックタイプ。「ウェイト修正位置で」



見やすいモニター画面

外観ルックス向上。コストパフォーマンスを追求